

# 令和7年度 わかば療育園はみんぐ 児童発達支援 自己評価結果

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		日頃から療育環境について確認し、必要に応じて整備を行っています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		定員やこどもの状態等を考慮し、職員を配置するようにしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		こどもにとって分かりやすい生活環境を心がけ、職員間で検討し整備するようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃、劣化物品の見直し等、清潔で心地よく過ごせる環境になるよう努めます。活動に合わせた空間を提供しています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		こどもの状態に応じて個別の部屋を提供することができます。
業務改善	6 業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	○		職員全体で目標を確認し、振り返りを行っています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		直接、保護者からいただいたご意見やアンケート結果等をもとに、業務改善に努めています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な職員会議やアンケートを実施しています。出された意見について職員で話し合い、業務改善につなげています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価を受けることができていませんが、これまでの評価結果をもとに業務改善に努めています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修を受ける機会や開催する機会が確保されています。研修内容を職員全体で共有し、資質向上に努めています。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページに公表しています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		ニーズや課題を把握し、アセスメントを行い、支援計画の作成に努めます。

## 適切な支援の提供

13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		こどもの支援に関わる職員と児童発達支援管理責任者が、こどもの安心感や成長につながるよう話し合い、支援計画を作成しています。
14	児童発達支援計画が必要に応じて職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		打ち合わせやカンファレンスの時間を通して、職員間で支援計画の内容を共有し、支援を行います。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		こどもの適応行動や支援の手立て明らかにするために、フォーマル・インフォーマルなアセスメントツールを使用しています。
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		各支援のねらい及び支援内容を踏まえて、具体的な支援内容を設定しています。
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		集団療育の立案はチームで行っています。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもさんの発達段階や特性、興味関心に応じたプログラムを提供しています。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		作成しています。
20	チームで支援を行う場合、支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		集団療育実施前には職員間で必ず打ち合わせを行い、チームで連携して支援を行っています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		集団療育実施後には職員間で必ず振り返りを行っています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録をとり、その内容を支援に生かしています。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に療育の見直しを行い、必要に応じてチームで今後の方針を確認しています。

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援事業所が主催する会議に、できる限り、こどもの状態を把握している職員が参加しています。参加が難しい場合は相談支援専門員と電話等で連携しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と連携して支援を行う体制を整えています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		インクルージョン推進の観点から支援を行うようにしています。その際に、保育所や幼稚園等と連携を行い、相互理解を図るようにしています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		こどもの状態や保護者の意見を踏まえ、小学校等との間で情報共有や相互理解を図るようにしています。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○	現在、連携の機会は少ないですが、必要に応じて連携し助言等を受けます。
	29	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育後に保護者とこどもの状況について伝え合っています。集団療育ではアンケートを用いて状況や課題を把握しています。必要に応じて、個別相談を実施しています。
	30	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今後も保護者の対応力の向上を図ることを意識し、研修会の実施を企画検討していきます。
	31	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		行っています。
	32	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別療育時や個別相談の際に、確認するようにしています。
	33	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		行っています。
34	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		個別療育時に子育ての悩み事等がないか確認するように心がけ、必要に応じて個別相談を実施しています。	

	35	保護者同士やきょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		今年度は保護者向け研修会「つばさの会」において保護者同士が交流する機会を設けました。また、地域の親の会や保護者交流の場等を掲示物等で紹介しています。引き続き、保護者同士交流できる機会について検討していきます。
保護者への説明等	36	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		体制を整備し、迅速に対応するようにしています。
	37	定期的に通信等を発行することやHP等を活用することにより、活動概要や行事予定等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		通信を作成し、事業所の取り組みやお知らせ等を発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に十分注意しています。
	39	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		相手の立場に立った意思疎通や情報伝達を心がけています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		プライバシー保護（安全面、感染症予防）の観点から、地域住民に事業所へ入っていただく取り組みはしておりません。しかし、ホームページに通信を掲載したり実習生を受け入れる等、開かれた事業運営に努めています。
非常時等の対	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは策定され、職員に周知しています。家族等に知っていただけるよう努めます。
	42	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、定期的に災害避難訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者へ記入していただくフェイスシートの見直しを行い、子どもの状況確認に努めます。
	44	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		当事業所では食物の提供が常にプログラムの中に組み込まれてはなりません。しかし、契約時に食物アレルギーの有無を把握しています。
	45	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、定期的に研修や訓練、施設や備品の点検を行っています。

応	46	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画に基づく取組内容について、契約時や療育時に周知していきます。
	47	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事案発生後、速やかにその事案を職員間で共有し、再発防止策について検討しています。
	48	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修の機会を確保し、虐待防止に努めています。
	49	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		療育者はこどもの様子を丁寧に観察し対応していきます。

令和7年度 わかば療育園はみんぐ 児童発達支援 保護者事業所評価結果

回収数 36名 (回収率 75%)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	1		1			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	31	2	1	2			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 ※わかりやすく構造化された環境…こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう物の配置などを工夫することです。	33	2		1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	35	1				・広くは難しいとは思いますが、髪の毛等が落ちていて気になる時があります。	・清掃を心掛け、心地よい環境を提供できるよう努めます。
適切	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	33	1		2		・時々ルールが複雑で、大人でも理解しにくいと感じた遊びがあった ・お子様の発達特性、理解力、興味関心等を把握して療育内容を考え、支援を行います。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、支援内容と合っていると思いますか。 ※ 支援プログラム…事業所における総合的な支援の推進と提供する支援の見える化を図るため、事業所の取組等を示したもの（待合室・ホームページに掲示）。	31	1		4		・気が乗らない日等、子供のペースに合わせてくれる。	

な 支 援 の 提 供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	34	1		1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、悩んでいる事など相談すると、すぐにプログラムに組み込んでくれる。</li> <li>・子供の苦手分野、伸ばしたいところを中心に考えて下さっていると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、ご家族のニーズをお聴きし、お子様の課題を客観的に分析して支援計画を作成します。</li> </ul>	
	8	個別支援計画には本人支援、家族支援、移行支援のそれぞれにおいて、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	2		4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手元に個別支援計画がないため、確認できなかった。（家族支援、移行支援の部分）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各支援の支援計画を立て、交付できるようにします。</li> </ul>	
	9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	32	3		1			
	10	活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 ※活動プログラム…こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせ、目的を持って行われる活動。	30	4		2			
保 護 者 へ の 説 明 等	11	利用する際に運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34			2			
	12	個別支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	2		1	2		
	13	事業所では、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学んだり、情報提供の機会（研修会、家族支援プログラム等）が行われていますか。	27	2	1	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会、家族支援プログラムをぜひ受けてみたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度も保護者向けの研修会「つばさの会」を実施し、周知に努めます。</li> </ul>
	14	保護者と職員はこどもの状況を伝え合い、共通理解ができていると思いますか。	33	1			2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の出来事等を伝え、その後の活動に反映してもらっていると感じます。ありがとうございます。</li> <li>・とても時間をかけて話を聞いて下さる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もご家族とお子様の状況を共有し、共通理解に努めます。</li> </ul>
	15	保護者に対して面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	3			2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つのアドバイスで悩んでいたことが解決できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も適切にご助言できるよう研鑽に努めます。</li> </ul>
	16	職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	1			2		

	17	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、そのことについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	4		1	2		
	18	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33	1			2		
	19	通信やホームページ等で活動概要等の情報や自己評価の結果が発信されていますか。	13	2	2	17	2		
	20	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	1	1	6	2		
非常時等の対応	21	事故防止や緊急時対応、感染症対応のマニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。	23	3	3	5	2		
	22	非常災害の発生に備え、定期的に避難等の訓練が行われていますか。	7	5	2	20	2	・訓練等が行われているか分からない。	・現在、お子様の過敏性等を配慮し、利用者数が少ない時間帯に実施しております。来年度も定期的の実施します。
	23	こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24	5		5	2		
	24	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	2		18	2	・事故等の状況になったことがないので不明。	・事故が生じた際は速やかに保護者へ説明します。職員間でも共有し、同じことが生じないよう事故防止に努めます。
満足度	25	こどもは安心感をもって通所していますか。	34				2	・リラックスして過ごしています。 ・安心して家族にしか見せない顔をしている。	・引き続き、安心感を感じてもらえる関わりや環境を提供できるよう努めます。
	26	こどもは通所を楽しみにしていますか。	33	1			2	・いつも楽しみに通所しています。本当にありがとうございます。	・引き続き、楽しみな通所となるよう努めます。
	27	事業所の支援に満足していますか。	31	3			2	・おおむね満足だが課題もある。	・お子様やご家族のニーズや課題と考慮おられるところを確認し、支援に満足していただけるよう努めます。

# 令和7年度 わかば療育園はみんぐ 放課後等デイサービス 自己評価結果

	チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		日頃から療育環境について確認し、必要に応じて整備を行っています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		定員やこどもの状態等を考慮し、職員を配置するようにしています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		こどもにとって分かりやすい生活環境を心がけ、職員間で検討し整備するようにしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃、劣化物品の見直し等、清潔で心地よく過ごせる環境になるよう努めます。活動に合わせた空間を提供しています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		こどもの状態に応じて個別の部屋を提供することができます。
業務改善	6 業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	○		職員全体で目標を確認し、振り返りを行っています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		直接、保護者からいただいたご意見やアンケート結果等をもとに、業務改善に努めています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な職員会議やアンケートを実施しています。出された意見を職員で話し合い、業務改善につなげています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価を受けることができていませんが、これまでの評価結果をもとに業務改善に努めています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修を受ける機会や開催する機会が確保されています。研修内容を職員全体で共有し、資質向上に努めています。
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、ホームページに公表しています。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		ニーズや課題を把握し、アセスメントを行い、支援計画の作成に努めます。

## 適切な支援の提供

13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		こどもの支援に関わる職員と児童発達支援管理責任者が、こどもの安心感や成長につながるよう話し合い、支援計画を作成しています。
14	放課後等デイサービス計画が必要に応じて職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		打ち合わせやカンファレンスの時間を通して、職員間で支援計画の内容を共有し、支援を行います。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		こどもの適応行動や支援の手立てを明らかにするために、フォーマル・インフォーマルなアセスメントツールを使用しています。
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		各支援のねらい及び支援内容を踏まえて、具体的な支援内容を設定しています。
17	活動プログラムの立案を必要に応じてチームで行っているか。	○		集団療育の立案はチームで行っています。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもさんの発達段階や特性、興味関心に応じたプログラムを提供しています。
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		作成しています。
20	チームで支援を行う場合、支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		集団療育実施前には職員間で必ず打ち合わせを行い、チームで連携して支援を行っています。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		集団療育実施後には職員間で必ず振り返りを行っています。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録をとり、その内容を支援に生かしています。
23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、必要に応じて見直しを行っています。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」 <sup>※注1</sup> を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		「4つの基本活動」を踏まえ、こどもが意欲をもって成功体験につながるよう支援をしています。

	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		こどものコミュニケーション能力を確認し、自己決定の体験につながるよう支援をしています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援事業所が主催する会議に、できる限り、こどもの状態を把握している職員が参加しています。参加が難しい場合は相談支援専門員と電話等で連携しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と連携して支援を行う体制を整えています。
	28	学校との情報共有や連絡調整を適切に行っているか。	○		こどもの状態や保護者の意見を踏まえ、学校と情報共有や連絡調整を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		こどもの状態や保護者の意見を踏まえ、保育所等との間で情報共有や相互理解を図るようにしています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		該当する利用者は少ないですが、必要な方に対しては連携を行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	現在、連携の機会は少ないですが、必要に応じて連携し助言等を受けます。
	32	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会の子ども部会に参加しています。後日、内容は全職員で会議や回覧資料で共有しています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育後に保護者とこどもの状況について伝え合っています。集団療育ではアンケートを用いて状況や課題を把握しています。必要に応じて、個別相談を実施しています。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今後も保護者の対応力の向上を図ることを意識し、研修会の実施を企画検討していきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		行っています。
	36	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別療育時や個別相談の際に、確認するようにしています。

保護者への説明等	37	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		行っています。
	38	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		個別療育時に子育ての悩み事等がないか確認するように心がけ、必要に応じて個別相談を実施しています。
	39	保護者同士やきょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		今年度は保護者向け研修会「つばさの会」において保護者同士が交流する機会を設けました。また、地域の親の会や保護者交流の場等を掲示物等で紹介しています。引き続き、保護者同士交流できる機会について検討していきます。
	40	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		体制を整備し、迅速に対応するようにしています。
	41	定期的に通信等を発行することやHP等を活用することにより、活動概要や行事予定等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		通信を作成し、事業所の取り組みやお知らせ等を発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に十分注意しています。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		相手の立場に立った意思疎通や情報伝達を心がけています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		プライバシー保護（安全面、感染症予防）の観点から、地域住民に事業所へ入っていただく取り組みはしておりません。しかし、ホームページに通信を掲載したり実習生を受け入れる等、開かれた事業運営に努めています。
非常時	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルは策定され、職員に周知しています。ご家族等に知っていただくよう努めます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を策定し、定期的に災害避難訓練を行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者へ記入していただくフェイスシートの見直しを行い、子どもの状況確認に努めます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		当事業所では食物の提供が常にプログラムの中に組み込まれてはなりません。しかし、契約時に食物アレルギーの有無を把握しています。

時 等 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、定期的に研修や訓練、施設や備品の点検を行っています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画に基づく取組内容について、契約時や療育時に周知していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事案発生後、速やかにその事案を職員間で共有し、再発防止策について検討しています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修の機会を確保し、虐待防止に努めています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		療育者はこどもの様子を丁寧に観察し対応していきます。

※注1 「4つの基本活動」

- 1.自立支援と日常生活の充実のための活動：基本的な日常生活動作や自立生活を支援する活動の提供
- 2.創作活動：表現する喜びを体験できるような活動や豊かな感性を培う活動の提供
- 3.地域交流の機会の提供：障害があるが故に社会生活や経験の範囲が制限されてしまわないように社会経験の幅を広げるようにする活動を提供する 例.地域のイベントに参加、ボランティアの受け入れ等
- 4.余暇の提供：遊びの練習や自分自身をリラックスさせる練習等の活動の提供、多様なプログラムの中から子どもが自己選択できることが望ましい

回収数 119名 (回収率 93%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	115	1		3			
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	100	8	2	9		・予約が取りにくい。	・予約が取り難い状況については、医療や地域事業所と連携しつつ、配置数について検討してまいります。
	3 生活空間は、 <u>こどもにわかりやすく構造化された環境</u> になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 ※わかりやすく構造化された環境…こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう物の配置などを工夫することです。	113	4		2			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	115	3		1		・プレイマットが古く白い粉が服や体につくのが気になります。 ・掃除は丁寧にされています。	・劣化物品の見直し等を行い、清潔で心地よく過ごせる環境になるよう努めます。
5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	115	2		2		・担当の先生がとてもよく子供のことを理解して下さっていて、子供に合わせて専門性のある指導を下さり子供がとても成長しています。	・今後もスキル向上に努め、専門性のある支援を提供できるようにします。	
6 事業所が公表している <u>支援プログラム</u> は、支援内容と合っていると思いますか。 ※支援プログラム…事業所における総合的な支援の推進と提供する支援の見える化を図るため、事業所の取組等を示したもの（待合室・ホームページに掲示）。	104	5		10				

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	116	2		1		・私ども親からの意見を親身に聞いてくれた上で計画を立てて下さっています。	・丁寧なニード聴取や客観的な分析を行い、計画に反映します。
	8	個別支援計画には本人支援、家族支援、移行支援のそれぞれにおいて、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	108	5		6			
	9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	109	7		3			
保護者への	10	活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 ※活動プログラム…こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせ、目的を持って行われる活動。	115	3		1		・毎回、子供の実態に合わせて色々工夫されて活動を仕組んで下さりありがとうございます。 ・担当の先生がいつも様々なプログラムを取り入れて下さり満足しています。 ・いつも違う内容で子供が楽しく活動できています。	・お子様の発達段階や課題、興味関心等を踏まえて、活動プログラムを作成していきます。
	11	利用する際に運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	113	4			2		
	12	個別支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	107	4		6	2		
	13	事業所では、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学んだり、情報提供の機会（研修会、家族支援プログラム等）が行われていますか。	99	11	1	6	2		
	14	保護者と職員はこどもの状況を伝え合い、共通理解ができていると思いますか。	115	1		1	2	・些細なことでも聞いてくれる。	・療育後だけでなく、個別相談も活用し共通理解に努めます。
	15	保護者に対して面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	113	3	1		2	・専門知識を教えてくれるのですぐ解決できる。	・今後も適切にご助言できるよう研鑽に努めます。
16	職員から共感的に支援をされていると思いますか。	113	3		1	2	・親自身も救われている。	・今後ご家族のご心配事等を傾聴します。	

説明等	17	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、そのことについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	108	4		5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前、学校のトラブルについて相談した際にすぐに相談に乗って下さりとても助かりました。療育内容に相談内容を反映して下さいました。</li> <li>・なんでも肯定的に話してもらえるので本当に親の心が救われる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もご家族のご相談等に、迅速かつ適切に対応できるように努めます。</li> </ul>
	18	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	111	3		3	2		
	19	通信やホームページ等で活動概要等の情報や自己評価の結果が発信されていますか。	70	13		34	2		
	20	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	105	1		11	2		
非常時等の対応	21	事故防止や緊急時対応、感染症対応のマニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。	83	17		17	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明内容を忘れていたかもしれません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアルは策定され、職員に周知しています。ご家族等に知っていただけるよう努めます。</li> <li>・定期的に訓練を実施しています。</li> </ul>
	22	非常災害の発生に備え、定期的に避難等の訓練が行われていますか。	51	17	2	47	2		
	23	こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	97	5		15	2		
	24	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	77	10	1	29	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故等発生したことがないので分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故が生じた際は速やかに保護者へ説明します。職員間でも共有し、同じことが生じないよう事故防止に努めます。</li> </ul>
	25	こどもは安心感をもって通所していますか。	114	2		1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な感情を表すので、本人にとっては安心できていないかと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、安心感を感じてもらえる関わりや環境を提供できるよう努めます。</li> </ul>

満足度	26	こどもは通所を楽しみにしていますか。	109	5	1	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行く前は拒否があります。</li> <li>・その時の機嫌によるところが大きい。</li> <li>・子供がやりたいことを大切にしてくれるので、はみんぐへ行くことが楽しみで仕方がない。もっと行きたいと言っている。</li> <li>・毎回とても楽しみに通わせていただいています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来所前のご様子にも関心を払い、ご家族へ確認しながら支援を行います。引き続き、楽しみな通所となるよう努めます。</li> </ul>
	27	事業所の支援に満足していますか。	114	3			2		

令和7年度 わかば療育園はみんぐ 保育所等訪問支援 自己評価結果

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
体制整備	1	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員配置数は適切ではありますが、タイムリーに実施できない場合があるため検討が必要です。
	2	業務改善を進めるための目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか。	○		職員全体で目標を確認し、振り返りを行っています。
業務改善	3	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		直接、保護者からいただいたご意見やアンケート結果等をもとに、業務改善に努めています。
	4	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な職員会議やアンケートを実施しています。出された意見について職員で話し合い、業務改善につなげています。
	5	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	外部評価を受けることができていませんが、これまでの評価結果をもとに業務改善に努めています。
	6	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修を受ける機会や開催する機会が確保されています。研修内容を職員全体で共有し、資質向上に努めています。
	7	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		ニーズや課題を把握し、アセスメントを行い、支援計画の作成に努めます。
適切	8	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		こどもの支援に関わる職員と児童発達支援管理責任者が、こどもの安心感や成長につながるよう話し合い、支援計画を作成しています。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		連携し、担任等のご意見を踏まえて計画内容を検討しています。
	10	保育所等訪問支援計画が必要に応じて職員間で共有され、計画に沿った支援が行えるようになっているか。	○		会議や打ち合わせ等で共有し、支援に生かすようにしています。
	11	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		こどもの適応行動や支援の手立て明らかにするために、フォーマル・インフォーマルなアセスメントツールを使用しています。

な 支 援 の 提 供	12	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを職員全体で確認し、その内容を踏まえて具体的な支援内容を設定するように努めています。
	13	支援終了後には、子どもと関係する職員間で振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		共有しています。
	14	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		あらかじめ保護者や訪問先施設から聴取したり、HP等で施設先の情報を確認したりして支援を行っています。
	15	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録をとり、その内容を支援に生かしています。
	16	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。
	17	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援事業所が主催する会議に、できる限り、子どもの状態を把握している職員が参加しています。参加が難しい場合は相談支援専門員と電話等で連携しています。
	関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	18	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	
19		就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		子どもの状態や保護者の意見を踏まえ、保育所等や学校との間で情報共有や相互理解を図るようにしています。
20		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		研修を受ける機会や開催する機会が確保されています。研修内容を職員全体で共有し、資質向上に努めています。
21		(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		自立支援協議会の子ども部会に参加しています。後日、内容は全職員で会議や回覧資料で共有しています。
22		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		療育後に保護者と子どもの状況について伝え合っています。集団療育ではアンケートを用いて状況や課題を把握しています。必要に応じて個別相談を実施し、共通理解を図るようにしています。
23		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今後も保護者の対応力の向上を図ることを意識し、研修会の実施を企画検討していきます。

保護者等への説明等	24	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		行っています。
	25	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		実施前に訪問先施設へ連絡をして、訪問支援の趣旨や目的等について説明をしています。
	26	保育所等訪問支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別療育時や個別相談の際に、確認するようにしています。
	27	保育所等訪問支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		速やかに同意が得れるよう努めます。
	28	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		個別療育時等に子育ての悩み事等がないか確認するように心がけ、必要に応じて個別相談を実施しています。
	29	保護者同士やきょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		今年度は保護者向け研修会「つばさの会」において保護者同士が交流する機会を設けました。また、地域の親の会や保護者交流の場等を掲示物等で紹介しています。引き続き、保護者同士交流できる機会について検討していきます。
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		体制を整備し、迅速に対応するようにしています。
	31	定期的に通信等を発行することや、HP等を活用することにより、活動概要等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		通信を作成し、事業所の取り組みやお知らせ等を発信しています。
	32	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に十分留意しています。
	33	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		相手の立場に立った意思疎通や情報伝達を心がけています。
訪問先施設への説明等	34	訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、信頼関係を築きながら専門的な助言を行っているか。	○		体制を整えています。信頼関係を築き専門的な助言が行えるよう研鑽に努めます。
	35	保育所等訪問支援（子どもの観察等）実施後に、訪問先施設と連携を行っているか。	○		子どもの様子や家族等の意見を把握しながら、必要に応じて行っています。
	36	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		個別相談等で行っています。

明 等	37	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報に十分留意しています。
	非 常 時 等 の 対 応	38	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	
39		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、定期的に研修や訓練、施設や備品の点検を行っています。
40		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事案発生後、速やかにその事案を職員間で共有し、再発防止策について検討しています。
41		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修の機会を確保し、虐待防止に努めています。
42		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で支援を行っているか。	○		職員はこどもの様子を丁寧に観察し対応していきます。

令和7年度 わかば療育園はみんぐ 保育所等訪問支援 保護者事業所評価結果

回収数 12名 (回収率 100%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 事業所はプライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	12						
	2 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	10	1		1			
	3 訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	10	1			1	・登校していないので、毎月あると助かります。	・ニードを丁寧に聞き取り、提供頻度や内容を検討していきます。必要に応じて、学校を含めた関係機関連携、地域資源の情報提供を行います。
	4 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	10	1		1		・はみんぐ終了後は市障がい者相談支援センターに引き継いでほしいです。	・終了後も安心して地域で過ごせるよう、事前にお子様やご家族と話し合い、お子様の状況を分析し、今後の方針をご提案させていただきます。必要に応じて関係機関等と連携を行います。ご心配な点がございましたら、担当者へお伝え下さい。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある訪問支援が受けられていると思いますか。	12						
	6 こどもや保護者、訪問先施設のニーズや課題が分析された上で訪問支援が行われるような個別支援計画が作成されていると思いますか。	11			1			
	7 訪問先施設に配慮して訪問支援が実施されていると思いますか。	12						
	8 利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10			2			
	9 個別支援計画書に基づき、訪問支援の内容の説明がなされましたか。	10			1	1		

令和7年度 わかば療育園はみんぐ 保育所等訪問支援 保護者事業所評価結果

保護者への説明等	10	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	11				1		
	11	支援実施後、事業所は保護者へ訪問内容について共有がなされていますか。	11				1		
	12	通信やホームページ等で活動概要等の情報や自己評価の結果が発信されていますか。	6	1		5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公式ラインやメールで研修会や通信等の情報配信があるとよい。</li> <li>・親の会があり、そのグループライン等もあると交流の機会となり良いのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重なご意見をありがとうございます。</li> <li>・今後もどのような媒体を用いての情報発信が相応しいのか、様々な角度から検討します。</li> <li>・所内で保護者同士が交流できる機会作りについて検討します。また、地域で行われている交流会等について情報提供できるよう努めます。</li> </ul>
	13	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			2			
	14	安全面に配慮して訪問支援が行われていると思いますか。	12						
対応の非常時	15	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	12					<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様が訪問を喜んで下さっていたということでしょうか。引き続き、訪問支援がお子様にならぬ影響について検討し、安心感のある訪問支援になるよう努めます。</li> <li>・子供が訪問があったことをすぐに教えてくれました。</li> </ul>	

令和7年度 わかば療育園はみんぐ 保育所等訪問支援 保護者事業所評価結果

満足度	16 事業所の支援に満足していますか。	10	2				<p>・支援には満足しているが、移転して遠くなったので、駅近く周辺で支援が受けられるようになるとう助かる。</p> <p>・県リハバスが療育終了後にある等、便数が増えてほしい。</p>	<p>・私共もできる限り負担の少ない通所が望ましいと考えております。その点について職員は留意して、ご家族のご意見を聴取り、支援計画に反映します。</p> <p>・リハバスの運行時刻や便数につきまして、貴重なご意見をありがとうございます。全体の便に影響が出る為、ご希望に沿うのは難しい状況です。ご理解とご協力をお願い致します。</p>
-----	---------------------	----	---	--	--	--	--	--

令和7年度 わかば療育園はみんぐ 保育所等訪問支援 訪問先施設事業所評価結果

回収数 7施設 (回収率 58%)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、 具体的でわかりやすく、取り入れ やすいものですか。	7				<ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらの話も親身になっ て聞いて下さり。お互いの状 況を共有できてありがたい。</li> <li>・日頃の保育では見えにく い姿や、私たちの気づいてい ない部分を教えて下さるので 、支援や配慮を知る良い機 会になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問先施設と事業所では お子様が置かれている環境 は異なることを踏まえ、先 生方のお話を丁寧にお聴き し、活用していただきやす い指導方法等について助言 できるよう、引き続き研鑽 に努めます。</li> <li>・私共も訪問先でのお子 様の様子や連携内容を当施 設での療育支援に活かして いきます。</li> </ul>
2	訪問支援員の支援に対する知識・ 技術等に満足していますか。	7					
3	訪問支援員は質問に対して、適 時・適切に回答してくれていま すか。	7					
4	保育所等訪問支援を利用したこ とで、課題や困りごとが解消ま たは軽減されましたか。	5	2			<ul style="list-style-type: none"> <li>・バランスディスクや人口 芝生での足の刺激があるセ ンサリーツールを取り入れ ていきたいと思っています。</li> <li>・悩んでいた声掛けの方 法や関わり方を知ることが できて、他の職員（担任 以外）にも共有することが できました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問先施設の困りごと や方針を丁寧にお聴きし、 ニードに沿った訪問支援 となるよう連携内容等を 検討していきます。訪問 日時の調整では、どの 時間に観察をするとよい のか訪問先と話し合っ て決定していきます。</li> <li>・発達特性や課題解決 方法について具体的に 分かりやすく説明でき よう研鑽に努めます。</li> </ul>
5	事業所からの支援に満足してい ますか。	7					

**その他、お気付きの点をご記入ください。**

- ・園での様子を細かく見ていただき、保護者への対応、周りの子たちへの配慮を考え助言がありました。周りの子どもたちが気づいてくれることに思いやりや感謝の言葉を添えて楽しい園生活となるよう務めたいと思います。
- ・子どもさんそれぞれによって、課題のある活動や支援の必要な場面は違うと思うので、見ていただきたい活動の時間帯（食事中など）を相談して決められたら良いのかなと思う。
- ・わかば療育園はみんぐでの様子や変容を事前に連携させていただけていたので、事後の相談の際には同じ視点で話ができよかったです。また、困っていることに対しても分かりやすく支援方法を教えてくださったので、それを参考にすぐに取り組むことができました。
- ・話を聞くということに絞り、意識して取り組んでいるところですが、アドバイスいただいたことをもとに実施していきたいと思います。